

## 第三者評価結果入力シート(児童養護施設)

種別	児童養護施設
----	--------

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
-------------------

### ②評価調査者研修修了番号

SK18017
SK18016
第117号

### ③施設名等

名称:	仙台天使園
施設長氏名:	土倉 相
定員:	79名
所在地(都道府県):	宮城県
所在地(市町村以下):	仙台市太白区茂庭台4丁目1番30号
T E L:	022-281-5181
U R L:	http://www.tensien.com/
<b>【施設の概要】</b>	
開設年月日	1933/4/1
経営法人・設置主体(法人名等):	社会福祉法人ロザリオの聖母会
職員数 常勤職員:	37名
職員数 非常勤職員:	21名
有資格職員の名称(ア)	児童指導員
上記有資格職員の人数:	21名
有資格職員の名称(イ)	保育士
上記有資格職員の人数:	13名
有資格職員の名称(ウ)	栄養士
上記有資格職員の人数:	1名
有資格職員の名称(エ)	
上記有資格職員の人数:	
有資格職員の名称(オ)	
上記有資格職員の人数:	
有資格職員の名称(カ)	
上記有資格職員の人数:	
施設設備の概要(ア)居室数:	6ユニット(1ユニット6名)
施設設備の概要(イ)設備等:	親子訓練室
施設設備の概要(ウ):	地域交流ホール
施設設備の概要(エ):	地域小規模児童養護施設「さくら」「つばき」「みずき」「かつら」

### ④理念・基本方針

<p>&lt;基本理念&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童の最善の利益を追求する</li> <li>2 子ども自身の意思表明権を尊重する</li> <li>3 児童の人権と命の尊厳の尊重</li> <li>4 職員から「愛されている」ことを子ども自身、実感出来る養護を形成する</li> </ol> <p>&lt;養護基本方針&gt;</p> <p>キリスト教的世界観、人間観を土台として、次のような子どもを育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祈り、感謝することのできる子ども</li> <li>・明るく美しい心を持った子ども</li> <li>・自主的に責任を持って行動できる子ども</li> <li>・困難にくじけず、正しく生きる強い子ども</li> </ul>
---

### ⑤施設の特徴的な取組

施設には、寄付金を子どもの自立資金として給付する独自の「自立支援金制度」があり、退所後の子どもの生活支援に充てています。
--

### ⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2020/10/7
評価実施期間(イ)評価結果確定日	
前回の受審時期(評価結果確定年度)	平成29年度

## ⑦総評

### 【特に評価の高い点】

◇施設の小規模化・地域分散化に取り組んでいます。

施設では、地域小規模児童養護施設を平成26年度から計画的に取り組み、現在4か所開設しています。また、本体施設でも6つのユニットに分散し、少人数での小規模グループケアに力を入れています。

◇職員の働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

施設では、衛生委員会を毎月開催し、産業医のアドバイスを受け、職場の労働環境のチェックを行っています。また、メンタルヘルス規程、パワーハラスメント防止等に関する規程、セクシャルハラスメント防止等に関する規程などを整備し、職員の心身の健康と安全確保への取組を行っています。さらに、全職員へ「福利厚生サービスのご案内」というカードを配布し、外部機関に健康や介護等の相談ができるようにして、職員の働きやすい環境と定着に向けた取組を行っています。

◇子どもの権利擁護に関する取組に力を入れています。

施設では、権利擁護委員会を設け、問題があれば職員全体で解決に向けて話し合ったり、問題を想定したロールプレイを取り入れたりして理解を深めています。また、子どもに対しても「権利とは何か」を、子どもの年齢や発達に応じて正しく伝える機会をつくる等取組に力を入れています。

◇家族との信頼関係づくりに努め、親子関係の再構築を支援しています。

施設では、家庭支援相談員を2名専任し、相談に応じる体制を強化しています。また、児童相談所と連携して、親子関係の再構築に向け子どもにとって適切に必要な支援に取り組んでいます。

### 【改善が求められる点】

◇安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組を望みます。

施設では、「事故対応の基本マニュアル」を作成し、事故対応を行っていますが、リスクマネジメントに対する体制が十分とは言えません。今後は、養育・支援の質の向上の観点から、事故報告やヒヤリハットの事例収集を通し、要因分析の実施や改善策・再発防止策を講じるために、リスクマネジメント委員会の設置やヒヤリハット事例収集などの組織的な取組を望みます。

◇被措置児童等虐待等の届出・通知制度の対応マニュアルの整備を望みます。

施設では、子どもに対する不適切なかかわりの防止や早期発見に繋がるよう業務日誌等に子どもとのかかわり方を具体的に記録し、報告されていますが、その制度についての対応マニュアルは整備されておらず、明文化されていません。今後は、子どもにも制度について解りやすく説明し、「対応マニュアル」として整備していくことを望みます。

### 【期待する点】

◇施設の資源を活用した公益的な事業・活動に取り組むことを期待します。

施設では、地域の福祉ニーズなどを把握できる環境にありますが、それに基づく具体的な事業・活動は行われていません。現在、本体施設の小規模化・分散化に向けて取り組んでおり、それに伴う空きスペースが生じてくることから、そのスペースを活用して「子ども居場所づくり」「子ども食堂」「学習の場の提供」など、施設の将来構想委員会で検討しています。今後、検討事項の実現に向けて取組が進むことを期待します。

## ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

## ⑨第三者評価結果(別紙)

(別紙)

## 第三者評価結果(児童養護施設)

### 共通評価基準(45項目) I 養育・支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
施設の理念や基本方針は、ホームページ、リーフレット、事業計画などに記載され明文化されています。周知は、職員に対して年度初めの会議で理事長や施設長から伝えられ、特に新任職員へは徹底するように努めています。子どもに対しては、ユニットごとに掲示物にして伝え、保護者へは、入所時に説明しています。また、理念や基本方針の読み合わせをして確認し、継続的な取組が行われています。		

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
施設では、地域懇談会や全国の児童養護施設会議等に参加しながら子どもの数、子どもへの養育・支援の状況などについて把握しています。特に、施設が位置する地域の家庭状況の中には将来施設利用につながる家庭があることなど、地域からの情報については地域懇談会や町内会などから把握しています。		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
施設では、経営状況や改善すべき課題は幹部や役員間で共有されていますが、職員には分析した詳細な内容は伝えていません。今後は、職員にも周知し、施設全体で経営課題の改善に取り組むことを望みます。なお、会計書類などは閲覧できる状況になっています。		

### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 施設では、「家庭養護推進計画」として策定した計画を、より具体的に進めるために「機能強化推進計画」として10ヶ年計画にまとめています。内容は施設の特徴を生かし、地域の社会的養育に積極的に関わり貢献する施設を目指すという理念のもと、施設の小規模化・地域分散化、施設の高機能化、施設の多機能化を目指して取組を行い、中間年には見直しを行うことにしています。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 施設の単年度の事業計画は、理念や基本方針・養育目標を明示するとともに、地域小規模児童養護施設の開設や施設内の小規模化など、中・長期計画が盛り込まれた内容になっています。		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 施設の事業計画は、年度末に各ユニットの主任が職員の意見を聞き、取りまとめをし、連絡会(施設長、統括主任、ユニット主任参加)にて検討・作成しています。そして理事会・評議員会に諮り決定されたのちに年度初めの職員会議で職員に配布・説明をするという流れになっています。今年度は新型コロナウイルスの影響で職員への説明が十分にできていないため、職員への説明については工夫し、見直しについても取り組むことを期待します。		
②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 施設の事業計画は、子どもへはユニットごとに職員から行事などは伝えていますが、施設全体の運営内容までは伝えていません。また、保護者に対しても特に周知のための取組は行っていませんが、ホームページに掲載されているので、いつでも見られる状態になっており、時々フェイスブックに保護者からの感想などの書き込みがあります。今後は、子どもや保護者に対してより理解しやすいように工夫して伝えることを望みます。		

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○
【コメント】		
施設では、第三者評価の受審や自己評価の実施を通して養育・支援の質の向上に努めています。今後は、評価結果に基づく課題や改善点について、PDCAサイクルに基づいて施設全体で取り組むことを期待します。		
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	
【コメント】		
施設では、評価結果から明らかになった課題等について、連絡会や職員会議で共有し改善計画を策定する体制はできていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で取組が進んでいません。今後は、課題解決に向けて、子どもの意見も聞きながら施設全体で計画的に取り組むことを望みます。		

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○
【コメント】		
施設長の役割や責任は、就業規則や職務分掌に明記され、広報誌などでも表明しています。また、職員会議における挨拶の中で自らの役割や責任を伝えています。なお、施設長の不在時は事務長が職務代行することを明確にしています。		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○



<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】

施設長は、全国及び東北の児童養護施設協議会が主催する研修への参加や行政からの情報収集などを通して、遵守すべき法令について理解を深めています。また、法改正などが行われた場合は職員へフィードバックし、施設全体で法令遵守の取組を行っています。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【コメント】

施設長は、子どもが安心・安全に暮らすことが第一であることを職員会議や処遇会議等で伝えていきます。また、子どもには「自分より他人を大事にすること」「誠実な心を持ってほしいこと」を日頃の養育・支援の中で教えてほしいと、職員には個別面談などを通して伝えながら養育・支援について指導力を発揮しています。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【コメント】

施設長は、手厚い養育・支援を行うために、職員の増員や子どもたちとの時間を確保するためのペーパーレス化とICT機器の導入、職員が安心して働けるための産業医の配置など、経営の改善や業務の実効性に取り組んでいます。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【コメント】

施設では、養育・支援に必要な人員は専門職員を含めて配置しています。職員の確保については、計画を立てながら実施していますが、途中退職や産休の代替職員の補充は難しいため年間を通して募集を行っています。今後は、計画に基づいた人材確保や育成が行われることを期待します。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設では、年2回職員とのヒアリングやアンケートを実施し、意見や要望を聞く機会を設けています。職員の昇給や昇格は理事長や施設長が評価して決めており、明確な基準はありません。今後は、職員のモチベーションを高めるためにも施設として人事考課制度の導入などの検討を望みます。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設では、安全衛生委員会を月1回開催し、産業医のアドバイスや職場の労働環境のチェックなどを行っています。また、メンタルヘルス規程、パワーハラスメント規程、セクシャルハラスメント規程などを整備しています。さらに、全職員に「福利厚生サービスのご案内」というカードを配布し、外部の機関に健康や介護の相談ができるようにしています。施設では、働きすぎを防止するためにタイムカードを導入しています。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標（目標項目、目標水準、目標期限）が明確かつ適切に設定されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設では、期待する職員像を明確にしています。職員一人ひとりの目標を記入する様式があり、それを基に年2回施設長と面談を行っています。面談時に目標の進捗や達成度の確認を行い、年度末には自己評価を行って職員育成につなげています。今後は、現在の様式に目標期限などが記載できるシートに整備して取り組むことを期待します。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○

【コメント】

施設では、研修委員会が組織され、施設内・外の年間研修計画を策定し、期待する職員像を目指して取り組んでいます。特に、施設内研修には力を入れ、年3回全職員を対象にテーマを決めた研修を実施しています。また、年度末には計画の評価と見直しを行い、次年度へ活かしています。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【コメント】

施設では、研修委員会が作成した年間研修計画を基に、施設内・外の研修に職員一人ひとりが参加できる機会が確保されています。研修終了後は「出張復命書」に内容と所感を記入し報告書としています。施設のスーパービジョン体制は、施設長や主任がスーパーバイザーの役割をし、新人職員に対応しています。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

施設では、「実習生受け入れマニュアル」や「実習要領」に基づき実習生を受け入れ、指導を適切に行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で8月以降に実習生を受け入れています。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果	
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	



<input type="checkbox"/>	法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
<input type="checkbox"/>	地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【コメント】

施設では、ホームページや広報誌「天使園だより」などに事業計画、決算報告、第三者評価の受審結果などの情報公開を行い、施設運営の透明性に取り組んでいます。今後は、第三者評価の受審結果による改善や苦情・相談の内容も公開することを望みます。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<input type="checkbox"/>	施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
<input type="checkbox"/>	施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
<input type="checkbox"/>	施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
<input type="checkbox"/>	外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【コメント】

施設では、法人の監事による監査や税理士と契約を結び、月1回会計に関する指導、助言を受けながら、公正かつ透明性の高い経営に取り組んでいます。

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
<input type="checkbox"/>	子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
<input type="checkbox"/>	施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
<input type="checkbox"/>	子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
<input type="checkbox"/>	(児童養護施設) 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○

【コメント】

施設では、地域との関わり方について基本的な考え方を文書化していませんが、学区民運動会への参加など学校を介しての交流や町内会行事(清掃活動など)への参加を通し、子どもと地域との交流を広げる取組を行っています。中でも、4ヶ所ある地域小規模児童養護施設は、地域の子ども会へ加入するなどして、地域との関係を大事にしています。

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<input type="checkbox"/>	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
<input type="checkbox"/>	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
<input type="checkbox"/>	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
<input type="checkbox"/>	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○

【コメント】

施設では、ボランティアの受け入れマニュアルを整備し、事業計画にもボランティアの活用を掲げ、積極的に受け入れをしています。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【コメント】

施設では、子どもの養育・支援に関わる関係機関をまとめた一覧表を作成しています。学校とは年2回の連絡会の開催や学校役員を引き受けるなど繋がりを深めています。また、児童相談所とは連絡を密に取り合い、子どもの状況について情報共有を行っています。今後は、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を整理したエコマップなどの作成を期待します。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○

【コメント】

施設では、地域懇談会への参加や学校、PTA、町内会とのつながりを通して、地域における福祉ニーズに対する声を聞く機会や把握できる環境にあります。今後は、福祉ニーズだけでなく、地域における課題や問題などの把握にも努めることを期待します。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	

【コメント】

施設では、地域の福祉ニーズを把握できる環境にありますが、それに基づく具体的な事業・活動は行われていません。1階フロアが空き室になっていることから、そこを活用して「地域の子ども居場所づくり」「学習の場の提供」「子ども食堂」など、施設の将来構想委員会にて検討しています。今後に期待します。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施  
1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 施設では、子どもを尊重した養育・支援について、事業計画や職員就業規則に明示しています。職員の共通理解を図るため、年1回の研修と月3回の処遇会議で「何が大切か」を話し合っています。また、全国児童養護施設協議会で発行した「この子を受け止めて育むために」を全職員に配布し、年数回、処遇会議で読み合わせを行っています。子どもの尊重や基本的人権への配慮については、年6回の権利擁護委員会で現状を把握・評価しています。		
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 施設では、プライバシー保護について処遇会議で伝えており、特に新規採用職員や実習生にはきちんと伝えていきます。居室は1～2人部屋で、机やベッドでプライバシーを守れるように配置し、職員も声をかけてから入室するように心掛けています。今後は、施設としてマニュアルを作成し、さらなる子どものプライバシーに配慮した支援を望みます。		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 施設では、ホームページやリーフレット・広報誌などで施設を紹介しています。写真などを取り入れながら、わかりやすい工夫がされています。ホームページやリーフレットは随時見直して更新しています。また、見学は随時受け入れています。		
②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	<input type="checkbox"/>

	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【コメント】

施設では、生活内容を記載した「仙台天使園のきまり」を入所時に手渡し、わかりやすい言葉で丁寧に説明しています。子どもや保護者の同意は、措置施設なので予防接種などの医療面のみ書面にしています。今後に向けて、意思決定が困難な子どもや保護者への説明や同意について検討することを期待します。

③	<b>32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。</b>	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【コメント】

施設では、他の施設や地域・家庭への移行にあたり、子どもや保護者の同意を得て継続性に配慮した情報提供を行っています。  
施設では、今年度より自立支援相談員を配置(昨年度までは兼務)、退所後の支援を計画的に行っています。退所後の相談は、自立支援相談員と子どもの希望で担当職員も対応しており、相談件数は多く、各種福祉制度の活用などの相談・対応を行っています。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。	第三者 評価結果	
①	<b>33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</b>	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【コメント】

施設では、年1回のアンケート調査と個別面談を実施し、子どもの満足の向上に努めています。アンケート結果は、中高生を中心とした子どもの会「四季の会」にフィードバックし、課題を一緒に検討しています。これまでの事例として、携帯電話の使用や門限時間の検討などを行っています。また、地域小規模児童養護施設は日々の話からすぐ対応し、解決に取り組んでいます。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	<b>34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</b>	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	



【コメント】

施設では、苦情解決の体制が整備され、入所時に配布する「仙台天使園のきまり」に記載し説明しています。また、苦情解決責任者や第三者委員・連絡先などが記載された文書の掲示と、意見箱の設置も行っています。苦情があれば職員会議で共有し、子どもに関することは、必ずフィードバックしています。今後は、苦情内容の解決を図った経過記録の整備とプライバシーに配慮して公開することを期待します。

②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

施設では、子どもに対し生活で困ったことがあったら担当職員や権利擁護委員会などに相談するように伝えていますが、不満・疑問・要望などはいつでも話してほしいことを文書にして掲示しています。施設として、文書を使った伝達や年1回のアンケートでは、取組が不十分と感じています。今後の取組に期待します。

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【コメント】

施設では、意見箱の設置やアンケートなどを通して子どもの意見を積極的に把握する取組を行っています。相談や意見があれば連絡票で職員間で共有し、迅速に対応できる体制になっています。今後は、相談や意見を受けた際の報告の手順や対応策について定めたマニュアルの整備を期待します。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者  
評価結果

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【コメント】

施設では、「事故対応の基本マニュアル」を作成しています。事故があった時は担当職員と主任が対応し、連絡票に記入して職員会議で周知しています。また、防犯対策としてセキュリティ業者と契約、防犯カメラと夜間センサーを設置、学校や交番・消防署とも連携しています。今後は、施設内でリスクに関する体制を整備し、ヒヤリハット報告を含む仕組みの構築を望みます。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直しを行っている。	○

<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設では、感染症の予防と対応マニュアルがあり、衛生委員会を中心に取り組んでいます。また、施設長からパソコンネットワークの掲示板で感染予防の注意喚起を行っています。ユニットごとに手洗いやマスク着用などのポスターも掲示され、インフルエンザなどの感染症が心配される際には、別室で隔離できる体制を作っています。新型コロナウイルス感染症対策では、PCR検査キットを購入し感染可能性があればすぐ検査できるように準備しています。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設では「災害対応マニュアル」を作成し、自衛消防隊を編成しています。防災委員会を中心に毎月の避難訓練を企画し、火災や地震・時間帯や場所など想定を変えながら実施しており、反省点などの課題も整理されています。備蓄品は3日以上を確保し、非常時に備えています。今後は、事業継続計画を作成することを期待します。

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果	
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設では、養護目標として生活支援・学習支援・健康支援・安全対策など、年度ごとに整理しています。養護目標は、年度初めと9月に振り返りを実施し、周知の確認を行っています。マニュアル綴りは冊子にして事務室に保管し、いつでも職員が確認できるようにしています。現在、養護支援に関わる項目と内容について整理中のため、今後に期待します。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設では、標準的な実施方法の見直しについては、リーダー会議で検証し、処遇会議で共有しています。見直しについては、職員や子どもからの意見を反映された内容になっています。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	

【コメント】

施設では、自立支援計画作成手順と年間計画を作成し、個別の自立支援計画を作成しています。アセスメントと計画作成は担当職員が行い、心理士や主任・児童相談所からアドバイスももらっています。自立支援計画には子どもや保護者の意向を確認し、具体的な内容が記載されています。今後は、計画作成後の子どもへの説明と同意を得ることを望みます。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

【コメント】

施設では、自立支援計画を年間計画に沿って半期に一度見直しを行っています。職員間での共有は、処遇会議とパソコンネットワークで確認しています。今後に向けて、緊急に変更する場合の仕組みを整理することを期待します。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設の情報共有として、パソコンのネットワークシステム「すこやか日誌」を職員全員で共有しています。ほとんどの情報が入っており、勤務日には必ず確認する決まりですが、徹底できていないこともあり運用が課題と感じています。また、各種会議を定期的開催したり、ユニットごとに手書きの日誌を作成し、職員間の情報共有に努めています。職員からの聞き取りでも、情報はきちんと伝わっていると話しています。子ども一人ひとりの記録は丁寧に記入されています。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	<input type="radio"/>

**【コメント】**

施設では、文書取扱規程や個人情報取扱規程があり、個人情報保護についての対策が定められています。ネットワークシステム「すこやか日誌」は、職員個人ごとのパスワード設定やウイルス対策も行っています。文書化された記録は、園長室の耐火金庫に保管し持ち出し禁止になっています。職員へは研修で周知しており、子どもや保護者へは入所時に説明しています。



内容評価基準(25項目)

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
<p>① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>施設では、権利擁護委員会を設け、毎年「子どもの権利擁護に関するチェックリスト」を活用し、職員全員で取組について自己評価しています。さらに、結果を分析し、問題点があればその都度解決に向けて話し合いをし、「四季の会」でも話題にしています。また、問題を想定したロールプレイも取り入れたことで、職員の理解を図っています。</p>	
<p>(2) 権利について理解を促す取組</p> <p>① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。</p> <p><input type="checkbox"/>年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>施設では、いろいろな情報があふれている社会の中で「権利とは何か」を正しく伝えることは難しいと感じています。各ユニットの年齢構成や関係性を重視し、日々の中で「お互いに思いやりの気持ちを持つことが大切」だということを伝えています。権利ノートの活用は個別に対応し、職員とは別に子どもを対象にしたCAP研修も行う予定にしています。</p>	
<p>(3) 生い立ちを振り返る取組</p> <p>① A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。</p> <p><input type="checkbox"/>事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生い立ちの整理に繋がっている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>施設では、子どもの成長記録としてアルバムを整理しています。また、数名ではありますが、生い立ちや名前の由来、好きな食べ物等、一冊にまとめたライフストーリーワークを作り始め、今後、有効に活用していきたいと考えています。</p> <p>施設では、子どもから生い立ちを聞かれたときに、担当職員が子どもの気持ちに寄り添いながら伝えていますが、状況に応じて主任職員や心理担当職員が対応し、全体でフォローして取り組んでいます。</p>	

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。	
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	○

【コメント】

施設では、「人権擁護チェックリスト」の活用や、業務日誌等に具体的に子どもへのかかわりを記録するようにし、振り返る機会をつくっています。問題があれば、処遇会議等で話し合いながら対応し、報告も職員間では徹底していますが、防止策や届出・通告制度について明文化されていません。今後は、対応マニュアル等の整備と子どもにわかりやすく説明する機会を設けることを望みます。

(5) 子どもの意向や主体性への配慮

①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	
	<input type="checkbox"/> 余暇の過ごし方について、子ども自身が自由に選択し、一人ひとりの趣味や興味に合った活動が行えるように支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの状況に応じて、金銭の管理や計画的な使い方などを学び、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援している。	○

【コメント】

施設では、クラブ活動としてお花クラブの他、絵画教室では外部講師を招いて地域の子どものと一緒に活動し、発表する場を設定する等、自由に余暇を過ごせるよう支援しています。  
施設では、ユニット毎に子どもと職員一人ひとりが目標を決め、掲示しています。問題や課題を検討する時間を確保していないものの日常的な会話を重視し、話しやすい環境づくりに努めています。金銭管理については、高学年(小学校)から小遣い帳をつけて、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援しています。

(6) 支援の継続性とアフターケア

①	A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。	○

【コメント】

施設では、入所前の施設見学を受け入れています。場合によっては、心理担当職員の面接や自立支援担当職員が家庭訪問し、不安軽減に努めています。また、家庭復帰後は自立支援担当職員が計画的に訪問し、子どもが困った時でも安定した生活が継続できるよう支援しています。

②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。	○

<input type="checkbox"/>	退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生の連絡などにも対応している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。	<input type="radio"/>
<b>【コメント】</b>		
施設では、NPO法人チャイルドラインと連携しながらリービングケアに取り組んでいます。また、退所者が集まる機会を設けていませんが、個別に希望があれば、受け入れて対応しています。今年度から退所後の支援を行うために自立支援専門相談員を配置しました。また、施設独自の自立支援金の制度を活用して、大学等入学の支援や生活支援等を行っています。		

## A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	<p>A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。</p>	<p>a</p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p>
<b>【コメント】</b>		
施設では、職員によって子どもが発する感情や言動の受け止め方に違いはありますが、しっかり受け止めるようにし、その背景にあるものを把握するよう努めています。問題がある場合は、ユニット毎に話し合い、職員会議、ケース会議等でも話題にしながら、職員全体で対応しています。		
②	<p>A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。</p> <p><input type="checkbox"/> 生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別に触れ合う時間を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/> 夜目覚めたとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。</p>	<p>a</p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p>
<b>【コメント】</b>		
施設では、小規模化に伴い子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努め、誕生会には職員と子どもで献立を考えて一緒に食事をつくる等、関係性を大切にしています。特に、地域小規模児童養護施設での生活は柔軟に対応できることが多く、子ども一人ひとりの欲求にこたえていると感じています。		
③	<p>A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員は必要以上の指示や制止をしていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。</p>	<p>a</p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p>



<input type="checkbox"/> つまずきや失敗の体験を大切に、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 朝・夕の忙しい時間帯にも、職員が子どもを十分に掌握、援助できるように、職員の配置に配慮している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設では、職員は子どもに対して、日常的な養育・支援の中で「ほめる」事を意識して接しています。また、子どもの行動に対してどう働きかけたかや、どのような言葉で伝えたかをできるだけ業務日誌等に記録しています。すべての職員がその記録を共有できるシステム「すこやか日誌」が整備されており、問題があれば担当職員以外からも声をかける等、職員全体で支援することができています。

④	A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設内での養育が、年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 幼稚園等に通わせている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの学びや遊びを保障するための、資源(専門機関やボランティア等)が十分に活用されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設では、子どもの希望で小動物を飼い、野菜を育てる等、学びや遊びの環境を整えるように努めています。しかし、本体施設においては、体を動かす遊びの工夫や地域の子供達との交流が課題となっています。また、個別に塾やスポーツクラブ通いを支援していますが、今後は、施設内の1階フロアを活用して、学びや遊びの充実を期待します。

⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束を一緒に考え作っていくようにしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくよう支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設では、地域の行事に積極的に参加し、社会性を学ぶ機会を設けています。また、中学生からは希望があればスマートフォンを使用できますが、使用上の約束事を書面で説明し、しっかりと伝えています。しかし、トラブルもあり、年に数回、NPO法人チャイルドラインと連携してネットやSNSの利用について、子どもが学ぶ機会を設けています。

(2) 食生活

①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気ですり食事できるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	<input type="checkbox"/>



基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。

【コメント】

施設では、ユニット内で子どもと職員と一緒に調理する等、家庭的な雰囲気の中で楽しく食事ができるよう配慮しています。地域小規模児童養護施設での献立は子どもと職員が決めています。栄養士も目を通し、栄養バランスの取れた食事提供ができるようアドバイスしています。今後は、残食調査を実施し、献立に反映された食事の提供を期待します。

(3) 衣生活

①	A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設では、子どもの年齢や発達に応じて衣服の管理をするように支援しており、特に、衣替えの際に衣類等身に着けるものが体に合っているか等を職員が確認しています。アイロンかけや補修、洗濯等はボランティアを活用しています。また、自分で好みの衣類を選択し購入する子どもには、事前にアドバイスする等、適切に自己表現できるように支援しています。

(4) 住生活

①	A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損箇所については必要な修繕を迅速に行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設では、机、ベット、カーテン等を新調し明るい雰囲気になっています。子どもへのアンケート結果でも、自分の居場所になっているとの回答が多く、居心地の良さが伺えます。また、共用スペースは子ども達が掃除当番交代を手作りし、子どもが職員と一緒に清掃し、清潔で快適な環境に気を配っています。今後は、リビング等広い空間の使い方を工夫し、よりくつろげるよう配慮することを期待します。

(5) 健康と安全

①	A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	○
--	---

【コメント】

施設では、子どもの健康管理は衛生委員会が中心になって対応しています。特に今年は、新型コロナウイルス感染症対策として、マニュアルに基づいて、マスク着用、手洗い、アルコール消毒等の徹底と、1日2回検温し記録しています。共有で使用する場所はこまめに消毒して感染予防対策を行っています。なお、嘱託医と連携し、子どもの健康管理に努めています。

(6) 性に関する教育

①	A17 子どもの年齢・発達状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	b
	<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	○
	<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	○

【コメント】

施設では、性の取組について、職員を対象にCAP歩歩のプログラムを活用したり、NPO法人チャイルドラインの研修に参加することで、正しい知識を得る機会をつくっています。また、性教育委員会が中心となり児童相談所と連携して幼児、小学生を対象に性について学ぶ機会を設けています。今後は、年齢や発達に応じて正しい知識・関心がもてるようなカリキュラムを用意し、活用していくことを望みます。

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	○
	<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけ出そうと努力している。	○

【コメント】

施設では、子どもの問題行動があった場合は、すぐ施設長に連絡し、危険なことがあれば警備会社、警察に連絡する等連携して対応しています。内容によっては職員全員が共有できるネットワークを活用し、行動が起きる前後の振り返りや子どもとの話し合い等全職員で対応し解決するように努めています。今後は、「びっくり！対応マニュアル」を活用しながら、全体で適切な対応するよう期待します。

②	A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっていく。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合には、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	○

【コメント】

施設では、子ども同士の関係性や職員との相性を考慮してユニット構成を行っています。地域小規模児童養護施設を増やし、環境を変えたことで、安定した生活が送れるようになった子どももいます。

(8) 心理的ケア

①	A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設では、年に1~2回児童相談所の心理担当職員と情報交換をし、特に心理的ケアが必要な子どもの課題や問題点を共有しています。心理担当職員が子どもの様子を見たり、処遇会議やケース会議等に同席して情報を共有しています。「ココロコラム」という資料を職員に配布したり、「すこやか日誌」を通して情報提供に努めています。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設では、学習環境について、落ち着いて学習できるような個別のスペースを作ったり、学習ボランティア等を活用しています。また、希望があれば学習塾を活用する機会を提供しています。特に受験生には模擬試験場までの移動を考慮し、施設を模擬試験場として利用してもらうことで、地域の子どもと一緒に試験を受ける環境をつくっています。今後は、学力が低い子供について、基礎学力の向上に努めるよう期待します。

②	A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 就学者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設では、学習・進路委員会があり、子どもが自分で進路決定できるように高校や大学等の情報を提供しており、本人や保護者、学校等とも十分に話し合うよう努めています。また、今年度からは高校進学に関して、国からの就学支援金制度が充実してきたので、私立高校も受験できるようになり、進路選択の幅が広がっています。大学受験ではオープンキャンパスの参加等、積極的に支援しています。



③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。	
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。	
	<input type="checkbox"/> アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。	○

【コメント】

施設では、職場実習等の企画や開拓は行っていませんが、学校での体験学習等や、NPO法人チャイルドラインの企画に積極的に参加して社会経験ができるよう働きかけています。アルバイトをしている利用者もいて、自立する上での経験として奨励しています。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかわりの発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもに関係する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。	○

【コメント】

施設では、家庭支援専門相談員を2名配置したことで、家族からの相談に応じる体制が強化されています。保護者等には学校行事に積極的に参加することを呼び掛けており、家族と一緒に子どもの成長を見守るように努めています。また、問題があるケースで子どもが一時帰宅した際は、児童相談所と連携しながら対応しています。

(11) 親子関係の再構築支援

①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。	○

【コメント】

施設では、家族関係の再構築のための親子訓練室「やすらぎの家」があります。そこでは保護者の希望を受けて宿泊または日帰りで活用し、家族関係の継続等に取り組んでいます。また、問題があるケースについては、児童相談所と連携して家庭訪問を行う場合もあり、家庭内の生活状況等を把握する等、子どもにとって適切で必要な支援に取り組んでいます。